



住民税の申告は お早めに



CONTENTS (もくじ)

- 住民税の申告はお早めに..... 2、3
- 市政クリップ・まちの話題..... 4、5
- お知らせ..... 6~9
- みんなのページ..... 10
- ズームアップ..... 12
- 特集号
区割りに関する第2次意見募集..... 1~4
- 表紙 中央公民館事業
「チャレンジ手作り」～ケーキ作り～



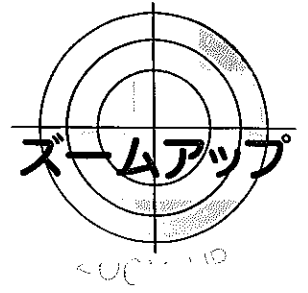
広報 しろね

2. 1
2005 No.677

広報しろねは、ホームページでもご覧になれます
http://www.city.shirone.niigata.jp

※資源保護のため100%再生紙を使用しています

※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます



出会いと癒しをご提供します コミュニティサロン「よりなれ亭」

市の空き店舗活用事業を利用して、昨年十一月にオープンしたコミュニティサロン「よりなれ亭」。誰もが気軽に立ち寄れる、みんなのためのスペースです。今では常連のお客さんも増えました。でも、まだこの店のことを知らない人は多いようです。

「よりなれ亭」のオープンに際し、手作り品店の店主、秋庭さんは「みんな協力して、内装にはほとんどお金を掛けず、使ったのは労力だけ」と笑顔で当時を振り返ります。

店舗内にはほかにも、自作の押し花アートが飾られた喫茶室の店主が、楽しいおしゃべりでお客さんを迎えます。手作り漬物店では、お母さん手作りの漬物物を看板娘が元気に販売。リサイクル品店では、利益無視の店長が、楽しみながら出店しています。そして、見る人を自然と笑顔にさせるパッチワーク・カントリードールのお店では、明るい店長が待っています。

「よりなれ亭」にふらりと寄って以来、パッチワークに魅せられ、週に一度訪れて、仲間と一緒に作るようになったお客さんもいます。このスペースでは、お店の商品だけでなく、新しい出会いや癒しを求めることができます。それぞれの店主が日替わりで出ていますので、どの店主に会えるかは行ってみてのお楽しみです。無料休憩所もありますので、何時間いても大丈夫。「家が遠くて行けない」という人も、循環バスで行ってみてはどうでしょう。なお出店したいという人は、市の商工観光課までお気軽にご相談ください。

▶数字で見る市勢 ※1月1日現在 ※()内は前月比

人口	40,521人(-21人)
男	19,799人(-16人)
女	20,722人(-5人)
世帯	11,623世帯(+5世帯)
出生	21人
死亡	36人
12月中の転入	83人
転出	89人

合併が目前に迫りました。「広報しろね」も、3月1日号の発行をもって長い歴史に幕を閉じます。◎その間、自治大臣表彰や県知事賞など数々の賞を受賞。あらためてその歴史の重みを感じています。◎合併後は「しろね支所だより」として新たにスタートします。先輩方が築いた伝統を引き継ぎ、市民との架け橋として一層頑張らねば、と思う今日このごろです。(お)

紙鷲合戦見聞記

風合戦の最も古い記録が弘化四年(二八四七)芙蓉山人の「紙鷲合戦見聞記」(仮題)です。風合戦を見物した印象記です。前段の一部が欠損しています。山人の詳しいことは分かっています。

若者の「かけ声は大堤を揺るがし、塵煙は数里に流れる」。堤上の光景を生き生きと描写し、観衆の風俗なども書き残しています。また「糸を引く若者は三百人、水を隔てて罵り合う」。今も変わらない風情です。そして「最も天下の壯観をなすを知れり」と結んでいます。

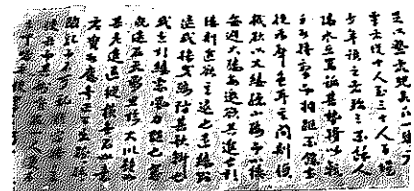
元治二年(一八六二)白根で生まれ育った星野豊城も「吾が郷毎年端午を

あなたも風博士

文・田村和雄
(しろね大風と歴史の館運営委員会委員長)

以て西白根人と、川を隔てて紙鷲を闘わす。大なるは長さ一丈、博八尺、あるいは博九尺、長さ二間(余幼児よりこれを好む)と記しています。豊城は文学博士、東京大学の教授でした。

いずれも風を中国の呼び名「紙鷲」と表記しています。当時のインテリには、できたての国字だった「風」を使うには、ためらいがあったようです。ちなみにこの「見聞記」、市のホームページでも見ることができます。



編集/白根市企画財政課広報コミュニティ係 (〒950-1292 新潟県白根市大字白根1235番地 ☎025-373-2111 FAX 025-373-3933)
ホームページアドレスhttp://www.city.shirone.niigata.jp Eメールinfo@city.shirone.niigata.jp

印刷/富士印刷株